

新版 中学生の道徳 明日への扉

ポイントをまとめて印刷 (https://gakkokyoiku.gakken.co.jp/r7text_doutoku/)

ア. 主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫

- 巻頭の「道徳科で学ぶこと 考えること」で、生徒と共に道徳授業の流れ「考えを深める4つのステップ」を確認することができます。このステップ順に授業を進めることで、充実した対話ができます。続く第1教材では、4つのステップに沿って授業を展開できる具体的な例「深めよう」を掲載しているので、スムーズに授業に入ることができます。
- 主題名の扱いにも配慮しています。教材の前に主題名を置かないことで多様な考えが生まれます。また、自ら課題を発見する力も育みます。

イ. 道徳的価値の意義及びその大切さの理解につながる工夫

- 生徒たちの「共に生き抜く力」を育て、ウェルビーイングを実現することを大切にしています。
- 生徒たち一人ひとりが主体性と広い視野を持ち、自らの未来を切り拓くために、必要な資質と能力を育むことを3つの編修の特色にしています。
 1. **人をつなぐ**: 自ら考え、友達、先生、家族、地域社会、世界とつながり、出会い、交流しながら、考えを深めることができます。
 2. **課題とつなぐ**: SDGs、多様性、いじめ防止などのさまざまな現代的課題や、他教科等とつながった質の高い学習を実現します。
 3. **未来につなぐ**: よりよい未来をつくるために大切なことは何か。多くの視点から系統的に学び、考えを深め、自己の成長を感じ取ることができます。

ウ. 物事を広い視野から多面的・多角的に考えることができる工夫

- 教材のタイトル下に、教材中の印象的な一文などを活用したキーフレーズを配置しています。生徒の問題意識を大切にしながら、教材への関心をかき立て、意欲的に学習に取り組むことができるようになっています。現代的課題マークも配置しており、自身の身の回りにある課題とつなげて考えることができます。
- 現代に生きる生徒たちにとって大きなテーマである「SDGs」「多様性」「キャリア」の3テーマについて、複数の教材から多面的・多角的に考えることができる「ユニット学習」を用意しています。

エ. 自己を見つめ、人間としての生き方についての考えを深めるための工夫

- 各学年巻頭に「さまざまなテーマで学ぼう」、巻末に「未来への扉」、「学びの記録」「学びのメモ」を設け、生徒が自身の成長を振り返り、課題や目標を見付けることができるように工夫しています。

- 各学年で「自己肯定感」「認知バイアス」について取り上げ、中学生の詠んだ短歌を取り入れるなど、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等、深く考えることができるように工夫しています。また、再び立ち上がる力<レジリエンス>を養うために、困難を乗り越えようとする力を後押しできるような教材を厳選しています。

オ. いじめ防止や「いのちの教育」への取り組みにかかわる工夫

- 「いのちの教育」を根底におき、自他の生命を尊重する心を育むことで、いじめを防止します。
- いじめについて直接的・間接的に考えられる教材を、年間を通してバランスよく配置しています。学級の実態に応じて指導時期や指導内容を柔軟に工夫できるようにしています。

カ. 現代的な課題にかかわる工夫

- 多様性については、専門家の監修を受けて、呼称や生徒の制服のイラストなども含め、表現の細部まで吟味・配慮しています。
- 性の多様性に関しては、「自分らしさを考える」「多様な性を認め合う」「自分らしさを生かして活躍する」と、発達の段階に合わせて系統的に取り組めるようにしています。
- 障害のある人、外国にルーツを持つ人、高齢者など、さまざまな多様性について考えられる教材を掲載しています。
- SDGs については、全学年で複数の教材を連続で学習する「ユニット学習」を設けています。専門家の監修を受けて、持続可能な社会の担い手となれるよう、自分事として考えられるように工夫しています。
- 情報モラルについては、発達の段階に合わせて系統的に「スマホ依存(自分自身)」「スマホを通した対人関係(友人と)」「発信者・受信者として(社会と)」を学べるようにしています。また、デジタルツールを自分らしく主体的に活用するにはどうすればよいかを考えることができる教材を揃え、これからの生徒たちに必要不可欠なデジタル・シチズンシップ教育にも対応しています。
- 震災や水害(および復興)、コロナ禍など、被災時や有事に関する教材も用意し、そのときの行動について、当事者意識をもって考えられるように工夫しています。

キ. ICT の利活用にかかわる工夫

- 教科書の二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツは、動画や写真、音声、ワークシートなどの多様かつ、適切な数で、適切な内容のコンテンツを用意しています。
- 教科書の巻頭「道徳科で学ぶこと 考えること」で、インターネットやタブレット端末などを活用し、学びの幅をさらに広げる方法を紹介しています。
- 学びを可視化する思考ツールの使い方も紹介しています。教科書の二次元コードから、思考ツールを用いたデジタルワークシートをダウンロードして、授業で活用することもできます。

ク. ユニバーサルデザインの観点で取り入れた工夫や配慮

- ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインを施しています。
- 教材をどれだけ読み進めているかが分かりやすくなるように、ページ数のデザインを工夫しています。
読むことへの意欲を高め、達成感が生まれます。
- 発言が苦手な生徒も授業に参加しやすくなるように、メモ欄を配置しています。
- 誰一人取り残さない学びを実現するために教師用指導書で、一部『やさしい日本語』を提供します。